

科目名	社会学 (Sociology)			科目コード	108
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	選択	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看②③⑤、臨①②⑤
担当教員	小松 洋*				
授業概要	医療従事者として身につけておいて欲しい社会認識の方法を、社会学の観点から教授する。昨今、社会の基盤としての社会制度や地域社会の有り様が大きく急激に変容している。医療従事者の地域的偏在など、医療の分野でも格差が広がる傾向にある。 混迷を深める現代社会において医療従事者が果たすべき役割は何かを念頭に、最新の主要トピックを中心に講義し、重要な論点についてはアクティブラーニングにより、学生間での議論と考察を促進する。				
授業目標	①社会学による現代社会と医療のとらえ方を理解できる、②現代社会における医療従事者の役割について社会学的な観点から把握できる。以上2点が目標である。				

授業計画

回	項目	内容
1	人間と社会	人間とはなにか、社会的弱者とは、個人と社会
2	家族	家族の歴史的発展、現代家族の諸問題、生活設計と社会福祉
3	地域社会	地域社会における生活とその変化、地域社会の発展、農村社会と都市社会、地域社会における保健・医療・福祉
4	職業と職場集団	職業と社会、経営体と職場集団、医療集団
5	現代社会と現代文化	現代社会の形成過程、現代社会、科学技術と専門職
6	社会問題と政策的対応	社会問題とそのとらえ方、社会問題への対応、医療にかかわる社会問題
7	社会調査	社会調査とは何か、社会調査の手順、 など
8	医療と社会学	医療と社会との関係、医療における社会学の役割、
9	医療と社会理論 1	ケアと行為、コミュニケーション、役割理論と病人役割
10	医療と社会理論 2	死の認識と終末期ケア、慢性疾患と軌跡理論、自己と自己概念
11	専門職と職業倫理	専門職の概念、専門職と自律性、医療専門職の問題、医療職の職業倫理
12	医療制度と医療従事者	医療に関する制度、日本の医療制度の歴史、活動の場、医療を担う専門職
13	医療職の労働	就業者の現況・推移・就業場所、病院における労働の実態と問題点
14	医療の展望と課題	少子高齢社会、技術の高度化、専門職化・専門分化、教育制度、国際化、感染症対策
15	まとめ	医療従事者が社会学を学ぶ意義とは
成績評価方法		定期試験の結果のみで評価する。
教科書		米林喜男・渋谷優子(編)「新体系看護学全書 基礎科目社会学」(メヂカルフレンド社)
参考図書等		中川輝彦・黒田浩一郎(編)「よくわかる医療社会学」(ミネルヴァ書房)
授業時間外の学習について		【予習】次回のテキストの該当箇所をよく読んで理解しておく。【復習】授業後にノートや配付資料をもとに、内容を復習し、各事項を理解する。予習・復習とも各2時間。
関連科目		170 公衆衛生学 172 疫学 169 環境衛生学
備考		